

八雲総合病院運営検討会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成30年 3月26日（月） 14:00～15:30
- 2 開催場所 八雲総合病院 南棟 講堂
- 3 出席者
 - （1）委員：竹内委員、長江委員、鈴木委員、大野委員、作田委員、三田委員（院長）
 - （2）職員：竹内経営企画課長、福原庶務課長、沢野医事課長、伊藤経理係長、上野庶務係長、石黒企画係長

4 傍聴者：無し

5 会議要旨

（1）開 会

○竹内経営企画課長

（2）院長挨拶

○診療により遅刻のため割愛

（3）事務局紹介

○順次職員の自己紹介を行う。

（4）議 事

① 八雲総合病院「新改革プラン」について

○竹内経営企画課長説明

○質疑等

委 員： 医師確保については、毎年悩んでいることでしょうか、今後の医師確保や体制、考え方について新しいニュースがあれば、お聞かせ願いたい。

竹内課長： 道内自治体病院は、どこも医師確保に課題を抱えているところ。当院も、北大、旭医大、札医大へ院長、事務長が幾度となく足を運んでいます、中々厳しい状況。

理由の一つとしては、各大学の医局にも中々医師が集まりづらい中で、医師派遣の充実が難しい状況とのことです。現在は、地域医療財団から1名の短期派遣を受け入れています、民間人材派遣会社を通じた医師確保も現実として考えていく必要がある。

更に今後も、道内各大学の医局を丁寧に訪問して、医師の確保を行っていきたい。ご心配をお掛けして申し訳ありませんが、今後も見守っていただきたい。

委員： 自分は、現在3診療科へ受診しているが、感じることは、“確保”というよりも、いかに“定着”させることを考えてほしい。

患者にとっては、寂しさと不安がある。定着させるにはどうしたらいいのか？ 定着しない問題点は何か？を考えてほしい。

三田院長： 北海道の医師数は、人口比では全国平均であるものの、広大な面積が本州とは比較にならない厳しさがある。一方で、地域枠での道内の医師数は今後、少しずつではあるものの増える傾向にある。

現在当院の医師は、内科以外がすべて大学からの派遣となっているので、定期的に交代となってしまう。地方の病院は、どこでも同じことで悩んでいる。希望は承知しているが、ご理解いただきたい。

竹内課長： 院長からもありましたとおり、引き続き、医局人事を大切にしながら、違う手立ても組み合わせ、医師確保に努めていきたい。

委員： 財務分析を見て、一言申し上げたい。グランドオープンから一年未満。建物も新しく、利便性もよくなり患者が増加すると、当初考えていたと思うが、改善傾向にはあると思うが、H23・24と比較すると、まだまだ伸びていないのが現状。

患者は、コミュニケーション、丁寧な接し方で、ここに受診したいと思うので、患者第一に考えてほしい。

少し前の話だが、職場の職員が、入所者の状況確認のため病院へ行ったとき、患者に対し、看護師の心無い発言や振る舞いが見られた話を聞いた。職員に対する教育も考えてほしい。ほんの一部の職員だと思うが、そのようなわさが立ってしまうと、“あそこは待遇が悪い”“扱いが雑”と評判が立ってしまう。そして、患者減となってしまう。もっとサービスを向上させてほしい。

三田院長： 代表してお詫び申し上げます。そのようなことが、今後起きないように厳しく対応いたします。

委員： 地元には病院がありながら、函館に受診に行くケースが多い。理由の1つとして、函館の病院の方が親切と聞く。

八雲総合病院は1つの企業。赤字が出たら町が補填してくれるという意識は捨てるべき。5～10年の間に赤字補填のための繰入金金を半分にするぞ、という意識で行って行かなければならない。総合病院に対し、地域住民は皆、良い病院になってほしいと思っているはず。

待遇は少しずつ良くなってきていると思うので、もっと努力している姿を見せてほしい。

竹内課長： 厳しい中にも、温かいご意見に感謝。今後、一定評価頂いている待遇を、外

来、病棟問わず磨いていき、平成30年度からは、更に当院の変えていく姿をもっと見せて行きたい。

三田院長： 小児科や産婦人科のように、どんなに補助金を頂いても採算割れとなる診療科もあるのが現状。少子高齢化が言われているが、地域住民のために無くすることは出来ない診療科。この病院を維持するためにも、町からの一部協力は必要不可欠、ご理解いただきたい。

委員： 資料2 P.9 (3) 目標達成に向けた具体的取組(オ)その他について病院を少しでも良くしようという計画で、前向きに進んでいることも理解する。成果を広報等でPRしていった方が良い。

委員： 出張医は収支も高くつくはず。経営改善は医師の協力が不可欠。出張医を固定医へ変えて行ってほしい。

三田院長： 当院も固定医の方が望ましい。しかし、出張医は固定医の第一歩と思い大事にしていきたい。

竹内課長： 収益の7割を担っている入院は、固定医だからできること。引き続き医師確保には、努めて行きたい。

② 平成29年度決算見込みについて

- 福原庶務課長説明
- 質疑無し

③ その他

委員： 今回の異動内示はどうなっているのか？

竹内課長： 内示段階であり、この場でのお話は控えさせていただくが、主要なところは、明後日公表となるので参照願いたい。

竹内課長： 来年度の運営検討会議について、会議を充実させる上で、回数等少し検討したいと思っているので、後日、改めてご相談させていただきたい。

三田院長： 3月31日を持ちまして、院長を辞任することとなりました。
後任の院長を、是非皆さん方で盛り上げ、更に良い病院として行っていただきたい。

以上